

## 現場研修事業の概要

### 1. 広島呉道路4車線化事業

本事業は、平成30年7月豪雨災害を受け、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策として、平成31年3月29日に事業化されたもので、供用中の道路を山側へ拡幅し、2車線から4車線に整備する事業である。この整備により、災害発生時における代替機能の強化や道路ネットワークの信頼性向上が期待されている。



(NEXCO西日本HPより)

### ○呉トンネル工事

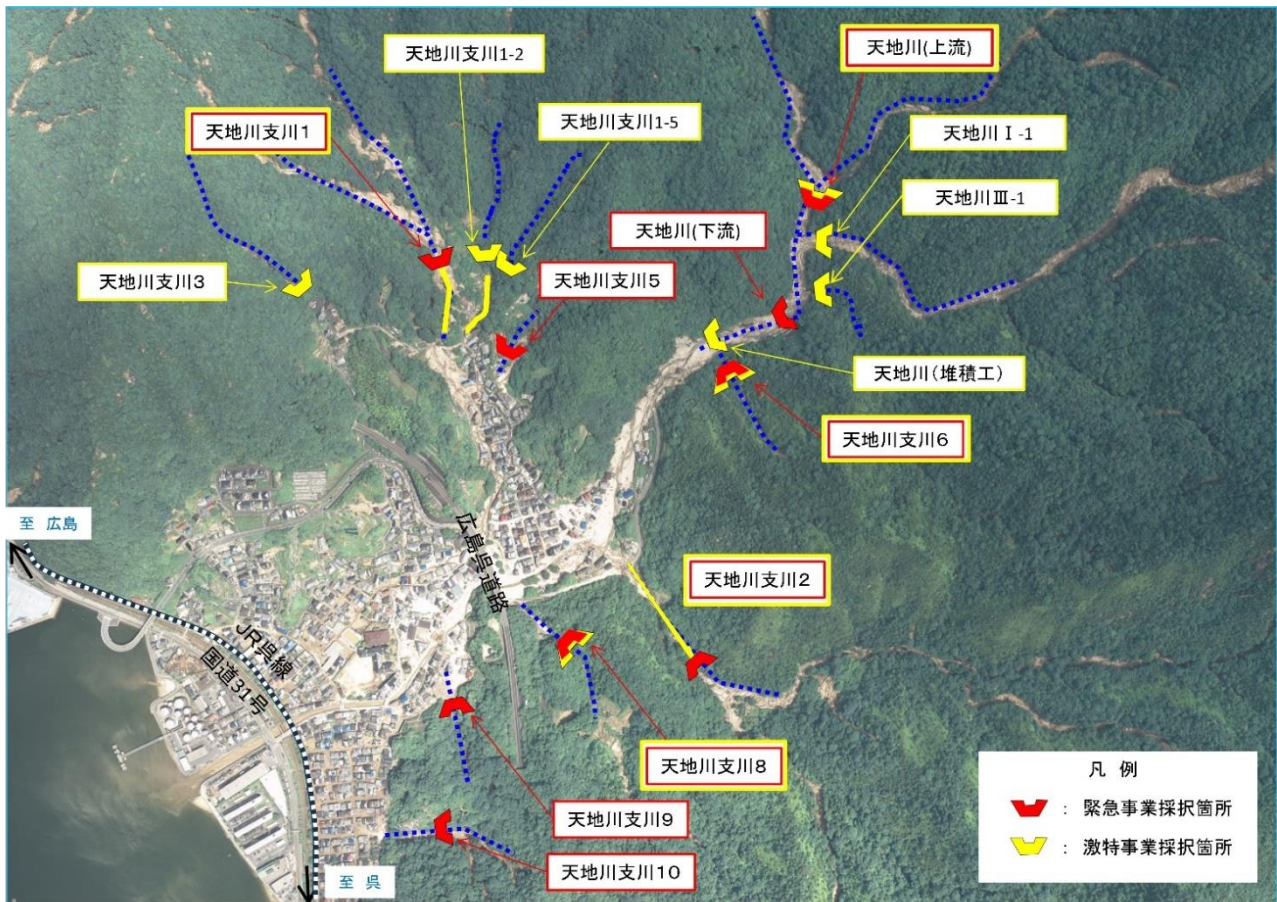
広島呉道路4車線化事業のうち呉市松葉町から二河町までの約3.25 kmの工区において、約2.4 kmに及ぶトンネル工事を実施している。本事業により発生する建設残土は、呉ポートピアパークを積込拠点として、安全かつ効率的に運搬するため、海上運搬にて搬出している。





## 2. 平成30年7月豪雨災害 砂防・治山施設整備（緊急・激特）事業等

…………… 広島県安芸郡坂町小屋浦



平成30年7月豪雨により土砂災害が発生し、甚大な被害を受けた箇所において、国・県・市町が連携して、早期復旧に向けた「平成30年7月豪雨災害 砂防・治山施設整備計画（緊急事業）」を平成31年1月に公表し、さらに、令和元年度に新たに採択された激特事業を含む再度災害防止事業を加えて、「平成30年7月豪雨災害 砂防・治山施設整備計画（緊急事業・激特事業等）」を令和元年5月に公表した。

坂町小屋浦地区では、多くの崩壊が同時多発的に発生し、谷出口において土石流による被害が生じただけでなく、下流地域において大量の流出土砂が河川を埋塞し土砂・洪水氾濫が発生したことで広範囲に影響がおよび、甚大な被害が発生した。施設整備計画では、多くの溪流から土石流が発生したため、これら全ての溪流において砂防堰堤や堆積工などを整備することとしている。

### ○坂町災害伝承ホール

平成30年7月豪雨災害から得られた教訓を将来に伝承し、災害を風化させないための取組として、地域住民の方の津波一時避難場所及び災害での教訓を将来に伝承するための教育や研修所の機能を兼ね備えた施設として坂町自然災害伝承公園内に「坂町災害伝承ホール」が建設された。

「坂町災害伝承ホール」では、パネル展示や映像を通して災害の実態を伝え、災害や災害時への備え、避難行動について学ぶことで、災害の伝承と町民の防災意識の向上を図ることとしている。

